

基礎編

1 人口

調布市では、出生が死亡を上回る自然増、転入が転出を上回る社会増が続いており、総人口は平成5年からの20年間で3万人近く増加し、市の将来人口推計（平成26年3月）では、今後もしばらくは人口増加が続き、平成36（2024）年の約23万人をピークに、減少に転じることと見込んでいます。

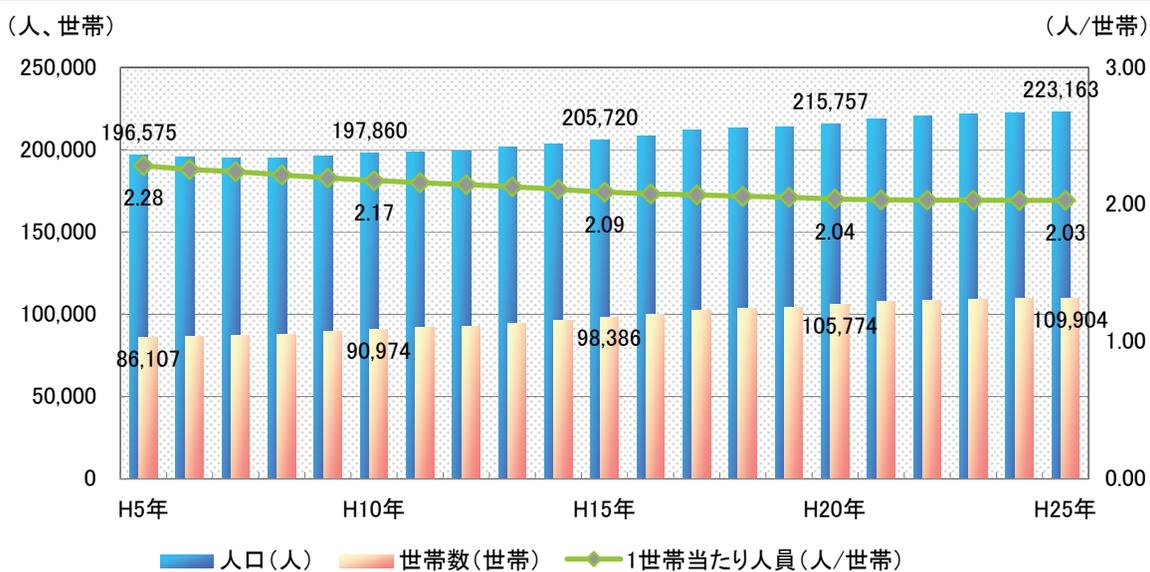
平成25年1月1日現在の調布市の人口22万3000人余を年齢別にみると、最も多い年齢層は40～44歳で2万人を超えています。65歳以上の人口は全国的な増加傾向と同様増加が続いています。一方、14歳以下は、全国的な減少傾向と異なり、微増傾向となっています。平成25年から平成42年に向け、市の将来人口推計では、75歳以上の人口は1万人以上増加する一方、15歳以上64歳以下の人口が5,000人以上減少することが見込まれています。

また、調布市では、夜間人口に比べ昼間人口が少なくなっており、夜間人口は近隣9自治体中2番目に多くなっていますが、近年は市外へ通勤・通学する市民の減少がみられます。

1-1 総人口・世帯数・人口密度

◆総人口、世帯数（推移）

平成5年～平成25年の20年間で、人口は約2.7万人増、世帯数は約2.4万世帯増となった一方、1世帯当たり人員は2.28人から2.03人に減少しています



資料：住民基本台帳

※各年1月1日現在、外国人を含む

◆人口、世帯数（平成 25 年比較）

近隣 9 自治体の中では府中市に次いで 2 番目に人口、世帯数が多くなっています

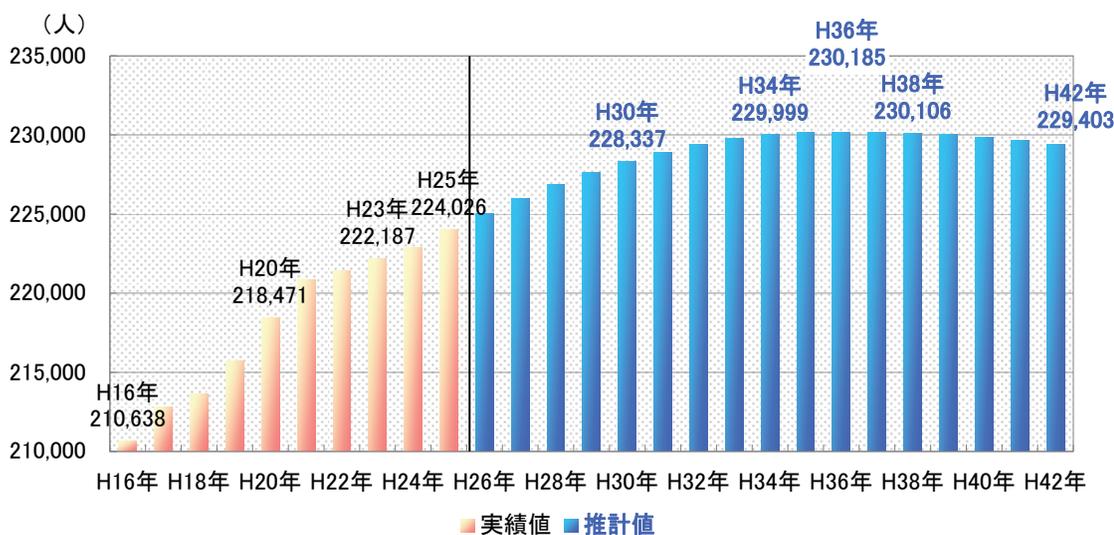


資料：東京都人口統計課「住民基本台帳による世帯と人口」（平成 25 年 1 月）

※外国人を含む

◆総人口（推計値）

市の将来人口推計（平成 26 年 3 月）では、総人口は今後も増加が続き、平成 36 年に約 23 万人でピークを迎える見込んでいます



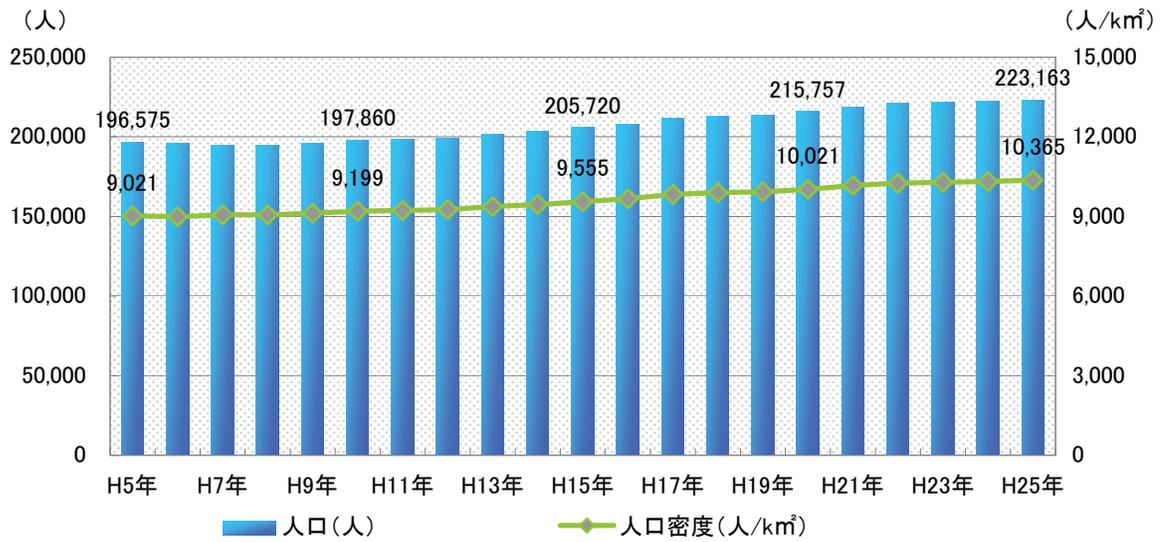
資料：政策企画課

※各年 10 月 1 日現在，外国人を含む

※推計値は，平成 25 年 10 月 1 日を基準とした人口推計

◆面積・人口密度（推移）

人口密度は平成 20 年に 1 万人/km² を超えました



資料：住民基本台帳
 ※人口は各年 1 月 1 日現在，外国人を含む
 ※人口密度は，国勢調査記載の市の面積を用いて算出

◆面積・人口密度（平成 25 年比較）

面積・人口密度とも調布市は近隣 9 自治体の中で 4 番目の規模です

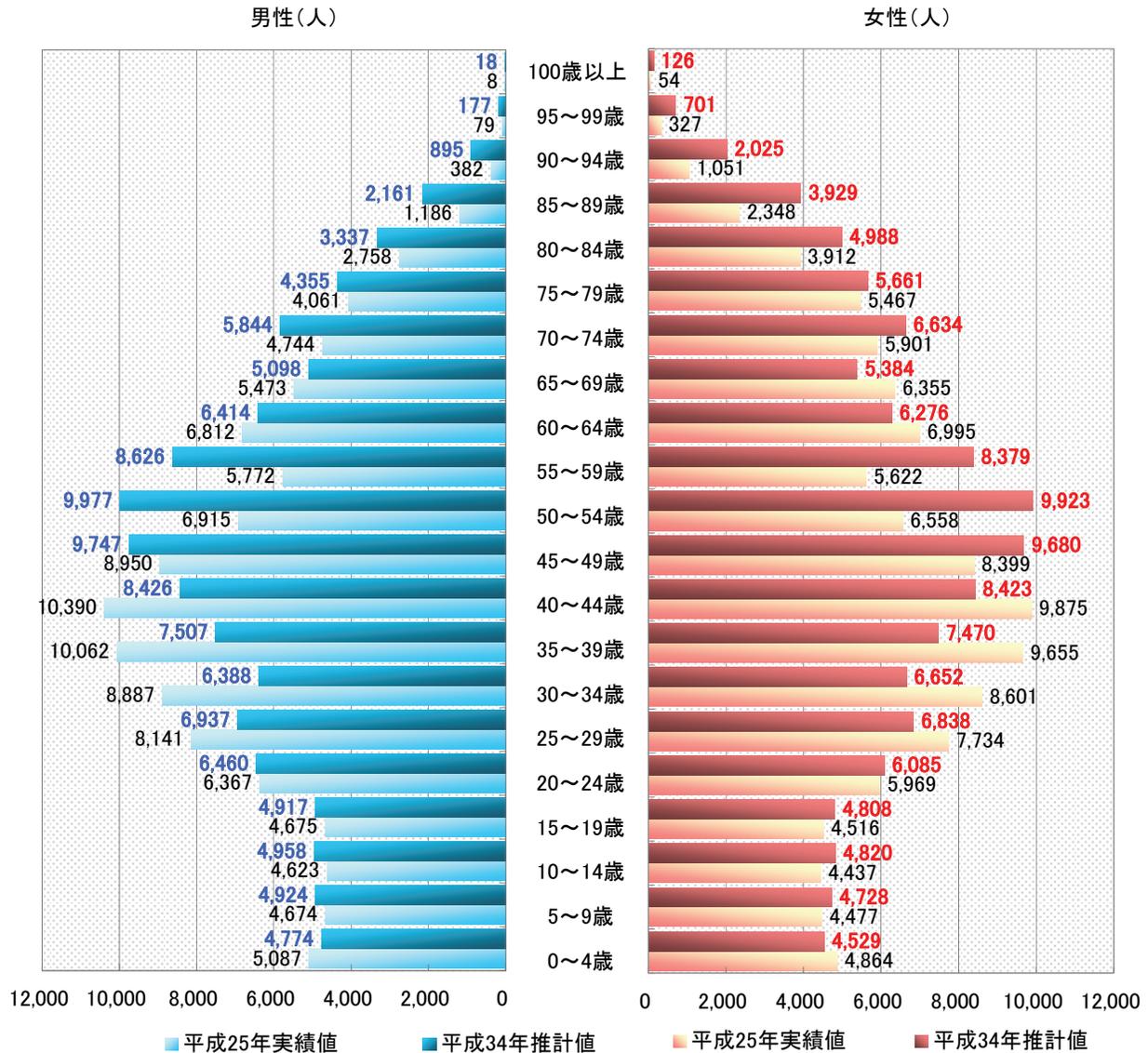


資料：東京都人口統計課「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」（平成 25 年 1 月）
 ※外国人を含む

1-2 年齢別人口

◆5歳階級別人口（平成25年実績値，平成34年推計値）

平成25年1月1日時点で、40～44歳の年齢層は男女計2万人を超える一方、19歳以下の各歳の人口はすべて男女計1万人以下にとどまっています
 平成25年から平成34年にかけて、30～34歳、35～39歳はいずれも4,000人以上減少する一方、50～54歳、55～59歳はいずれも5,000人以上増加する見込みです



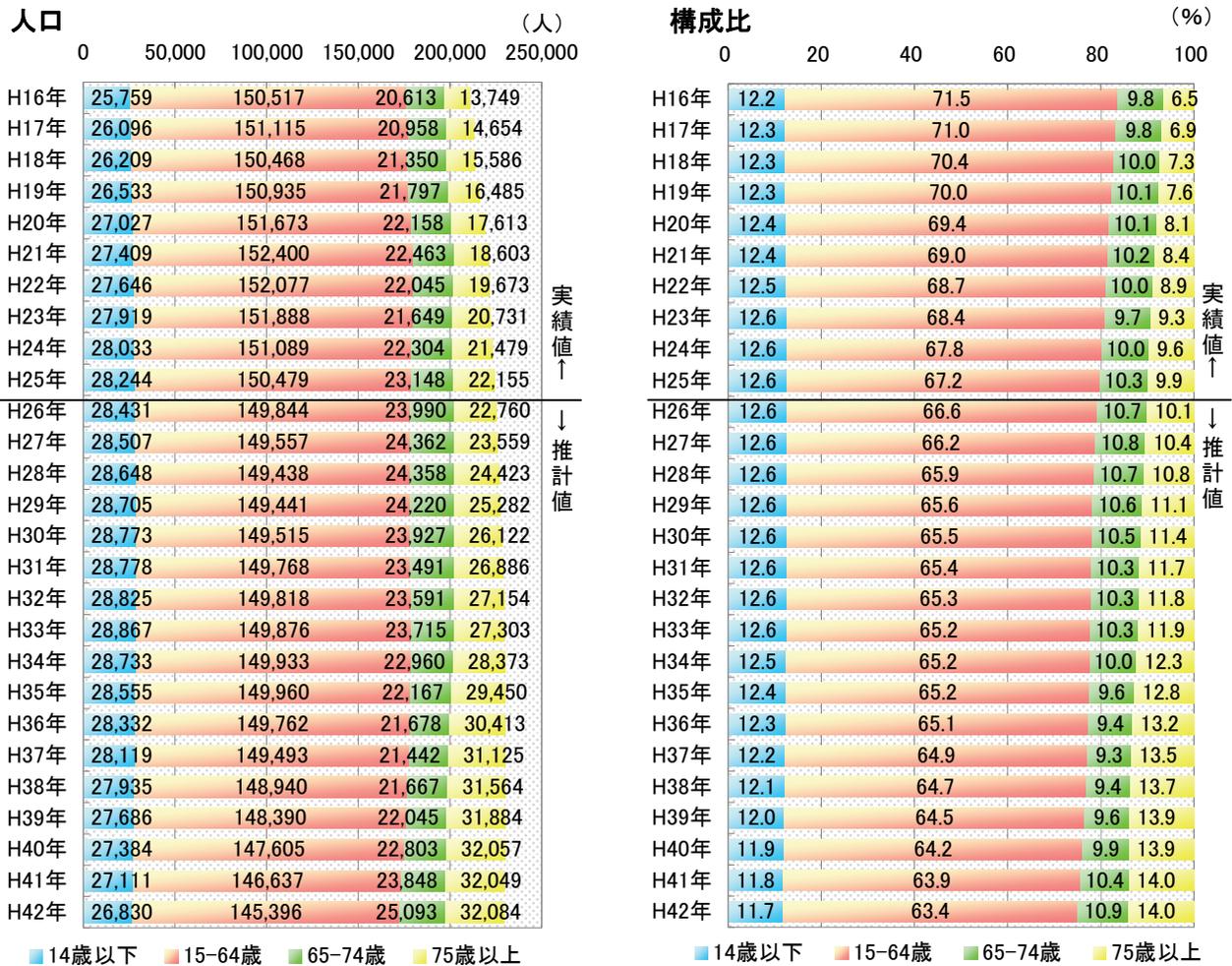
資料：住民基本台帳，政策企画課

※実績値は1月1日時点，推計値は平成25年10月1日を基準とした人口推計，いずれも外国人を含む。

◆年齢4区分別人口（推移・推計値）

平成 25 年から平成 42 年にかけて、15 歳以上 64 歳以下が 5,000 人以上減少する一方、75 歳以上は 1 万人近く増加する見込みです

平成 27 年には高齢化率が 21% を超えて超高齢社会に突入し、平成 28 年には 75 歳以上人口が 65 歳～74 歳人口を上回り、平成 42 年には市内在住者の 4 人に 1 人が高齢者になると見込んでいます



資料：住民基本台帳，政策企画課

※実績値は各年 10 月 1 日時点，推計値は平成 25 年 10 月 1 日を基準とした人口推計，いずれも外国人を含む。

◆年齢4区分別人口（平成 25 年比較）

調布市は近隣 9 自治体の中では平均的な年齢構成であり、年少人口の割合は稲城市が、老年人口の割合は日野市，多摩市，狛江市が比較的高くなっています



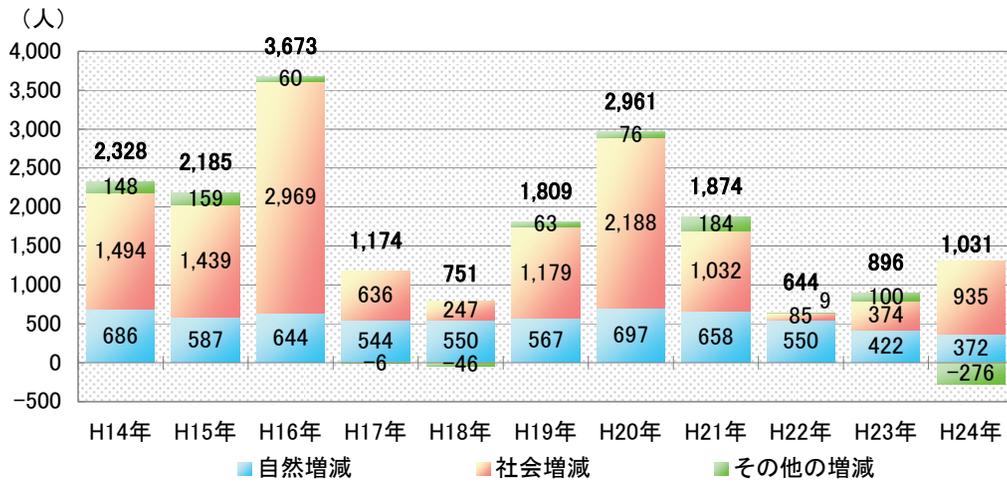
資料：東京都人口統計課 「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」（平成 25 年 1 月 1 日現在）

※外国人を含む

◆人口動態

調布市は自然増（出生が死亡を上回る）、社会増（転入が転出を上回る）が続いており、平成20年から平成24年の増減人口は近隣9自治体で府中市に次いで多くなっています

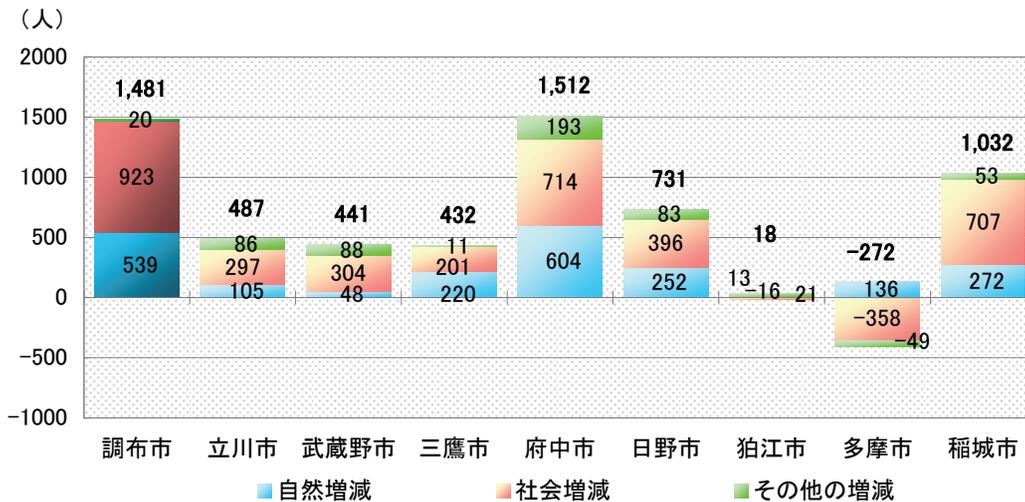
推移



資料：住民基本台帳

※「その他の増減」は、外国人人口の増減、帰化、国籍離脱、出国並びに実態調査等職権による記載、消除、補正による増減等を示す。

平成20～24年比較（5年間の平均）



資料：東京都人口統計課「人口の動き（平成24年中）」

(参考) 調布市への転入が多い市区・調布市からの転出が多い市区（平成22年，上位5市区）

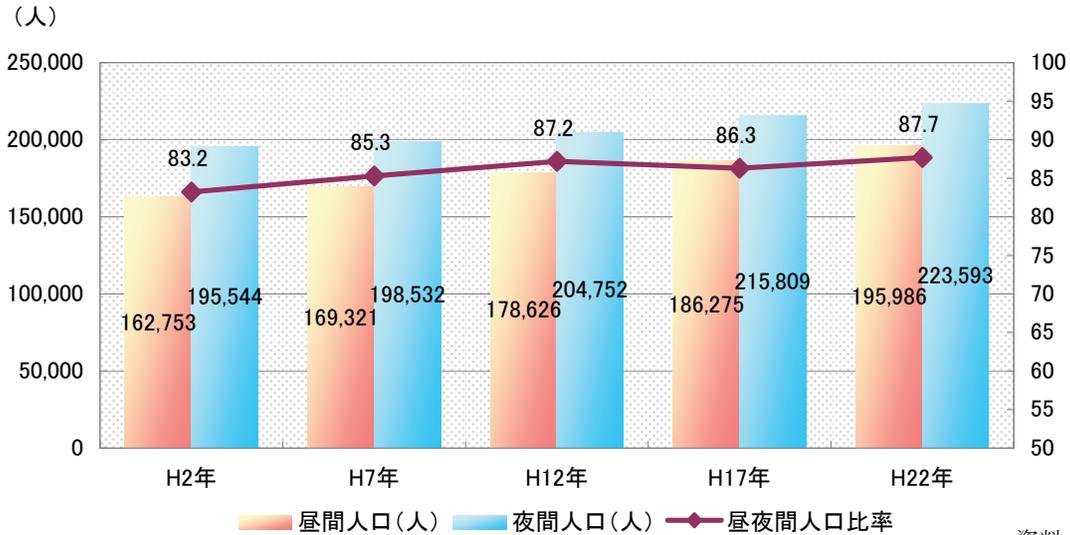
転入				転出			
順位	自治体名	転入者数 (人)	転入者数(総数)に占める割合(%)	順位	自治体名	転出者数 (人)	転出者数(総数)に占める割合(%)
1位	世田谷区	3,681	9.3	1位	世田谷区	3,056	8.4
2位	三鷹市	1,892	4.8	2位	府中市	2,297	6.3
3位	杉並区	1,598	4.0	3位	川崎市	1,502	4.1
4位	府中市	1,348	3.4	4位	八王子市	1,304	3.6
5位	川崎市	1,212	3.1	5位	横浜市	1,192	3.3
転入者数(総数)		39,615		転出者数(総数)		36,407	

資料：国勢調査「5年前の常住市区町村による現住市区町村，男女別人口」（平成22年）

1-4 昼夜間人口

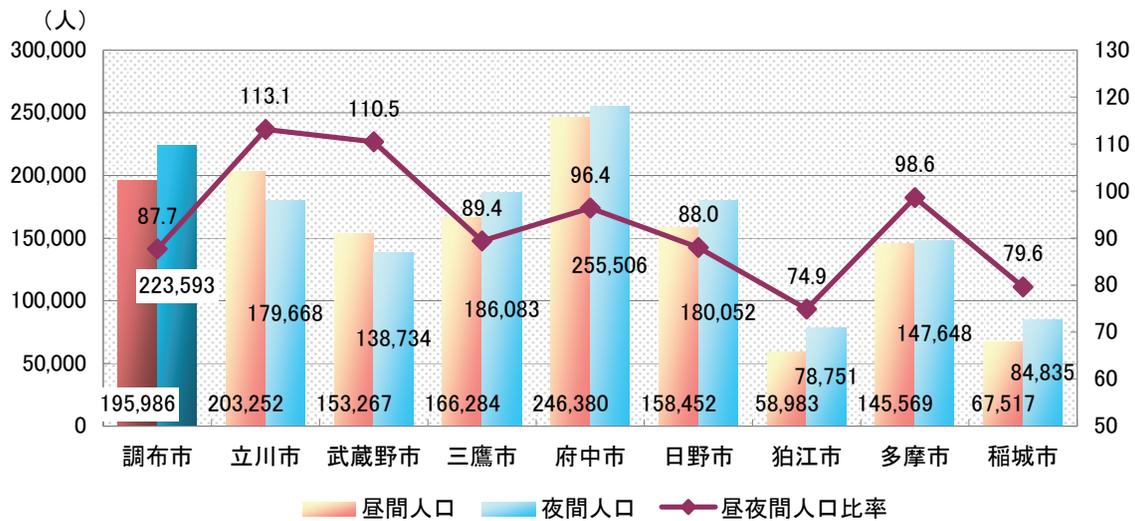
◆昼間人口・夜間人口※（推移）

平成 22 年までの 20 年間で、昼間人口は約 33,000 人、夜間人口は約 28,000 人の増加となり、昼夜間人口比率は上昇傾向です



◆昼間人口・夜間人口（平成 22 年比較）

調布市は、夜間人口は近隣 9 自治体中 2 番目に多く、昼間人口は立川市に次ぐ 3 番目の多さです
昼夜間人口比率は、近隣 9 自治体中 3 番目に低くなっています



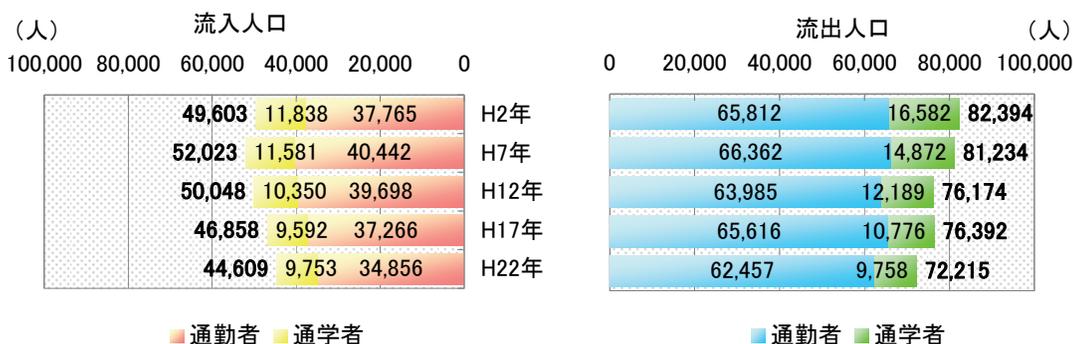
※昼間人口：通勤・通学をしている人を、その通勤・通学先（従業地・通学地）で集計した人口のこと。昼間に活動している場所での人口となるので、「昼間人口」と呼ばれる。他の市区町村からの買い物客などの不定期な移動者は含まれない。

※夜間人口：人が住んでいる場所（常住地）で集計した人口のこと。人が寝泊まりする場所での人口となるので、「夜間人口」と呼ばれる。

※昼夜間人口比率：夜間人口 100 人当たりの昼間人口の割合のこと。100 を下回ると、市外に住んでいて市内へ通勤・通学する人が、市内に住んでいて市外へ通勤・通学する人を下回ることとなる。

◆流入人口（市外からの通勤・通学者）・流出人口（市外への通勤・通学者）（推移）

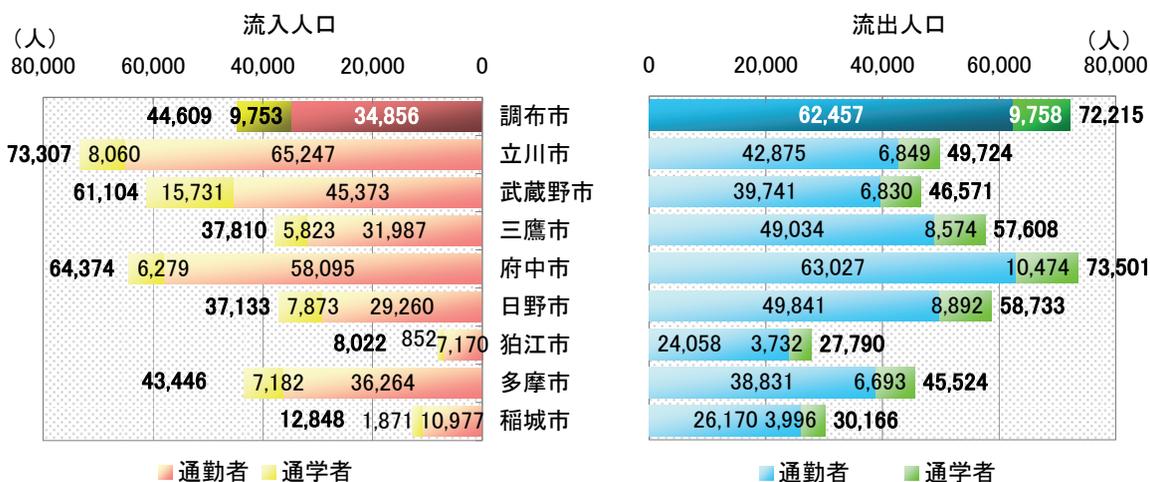
調布市の昼夜間人口比率が上昇した要因として、市外へ通勤・通学する市民の減少が挙げられます（平成22年までの20年間で4割以上減少）



資料：国勢調査

◆流入・流出人口（平成22年比較）

流出人口は府中市と同程度ですが、流入人口は府中市の7割以下で、立川市、武蔵野市よりも少なくなっています



資料：国勢調査（平成22年10月）

【参考】東京都の市区別流出・流入人口（上位10市区）

順位	自治体名	流出人口 (人)	市内常住の就業者・通学者に占める割合 (%)	順位	自治体名	流入人口 (人)	市内の従業・通学者に占める割合 (%)
1位	新宿区	7,676	6.6	1位	府中市	5,411	6.1
2位	千代田区	6,584	5.6	2位	八王子市	3,133	3.5
3位	世田谷区	5,958	5.1	3位	世田谷区	3,098	3.5
4位	渋谷区	5,859	5.0	4位	三鷹市	2,800	3.2
5位	港区	5,484	4.7	5位	川崎市	2,571	2.9
6位	府中市	3,803	3.2	6位	多摩市	2,203	2.5
7位	三鷹市	3,362	2.9	7位	狛江市	1,786	2.0
8位	中央区	3,356	2.9	8位	稲城市	1,685	1.9
9位	杉並区	2,626	2.2	9位	横浜市	1,326	1.5
10位	八王子市	2,278	1.9	10位	日野市	1,285	1.4
市内常住の就業者・通学者 (市内での従業・通学含む)		117,127	-	市内の従業・通学者 (市内常住者含む)		88,664	-

資料：国勢調査（平成22年10月）